

## 学 会 録 事

### 評議員会記事

定例評議員会は、昭和49年9月3日午前11時より1時間30分、北海道大学クラーク会館において開催された。

出席者 評議員；有賀祐勝，広瀬弘幸，小林 弘，黒木宗尚，中沢信午，奥田武男，藪 熙（次席評議員 千原光雄，瀬木紀男，坪由宏氏からは委任状を受領），名誉会長；山田幸男 会長；中村義輝 幹事；阪井与志雄，館脇正和，吉田忠生，増田道夫，内田卓志，斎藤捷一

総会に提出の次の事項について協議承認された。

- 1 昭和48年度並びに昭和49年度中間庶務，会計及び編集報告
- 2 昭和49年度第1回持廻り評議員会協議事項報告
- 3 昭和49年度予算案
- 4 会則第5条（事業年度）の改正並びに役員改選の繰上げ実施について
- 5 「藻類」11～20巻のインデックスの印刷について
- 6 学術会議25周年記念の寄附金（1万円）について
- 7 編集委員制度について

### コンブに関する講演会記事

コンブに関する講演会が昭和49年9月3日午後1時より5時まで、ムトウ会館会議室において開催された。講演会のプログラムは次の通り。（敬称略）

- 1) 川嶋昭二（函館水試）  
北海道周辺海域のコンブ類について
- 2) 三本菅善昭（北海道区水研）・鳥居茂樹（函館水試）

マコンブの地域的形態変異

- 3) 金子 孝・新原義昭（稚内水試）  
リシリコンブの生態
- 4) 佐々木 茂（釧路水試）  
ナガコンブの生活様式

### 第22回総会記事

本会第22回総会は、昭和49年9月3日午後5時から6時までムトウ会館会議室において開催された。会は阪井幹事の開会の辞に始まり、中村会長挨拶の後、次の順序で議事が進められた。

1. 議長選出：長谷川由雄氏が選出された。
2. 庶務報告：昭和48年度より藻類の年4回刊行に伴い、48年度はそれぞれ4月25日，6月25日，9月25日，12月25日の4回と49年度は3月25日，6月25日の2号まで発刊された。その他昭和48年度報告及び同49年度中間報告がなされ承認された。
3. 会計報告：昭和48年度決算及び同49年度中間報告は別掲の通り承認された。また，正置会計監事より昭和48年度決算，49年度中間会計を監査した結果，これらが適正に執行されていることが報告された。
4. 編集報告：昭和48年度および49年度（昭和48年4月1日から49年8月31日現在まで）において，藻類に投稿され受理された編数は45編であるが，第21巻第2号から第22巻第3号までに42編が掲載されたことなど，投稿原稿の掲載状況について説明がなされ了承された。
5. 評議員会報告：第20回総会で提案，

承認された編集委員制度については委員会の構成、委員の選任、編集方法、その他制限頁数などの問題も含めて評議員会で継続審議することとなった旨報告された。これに対して論文の審査方法について討議がなされ、円滑な審査にはまだ多くの点で問題があり、現状では審査ではなく校閲であるという了解に達したが、これらの点も含め編集委員制の確立が必要であることが確認された。

6. 会則第5条(事業年度)が次の通り改正された。本会の事業年度は1月1日に始まり、同年12月31日に終る。

7. 上記の改正に伴い(別掲の通り)、昭和49年度予算は12月31日までとし、事業年度移行のため昭和50年3月までの暫定予算を組むことで、昭和49年度予算の原案が承認された。

8. 同時に役員の変更を昭和49年11月中に繰上げて、従来通りの方法で実施することが承認された。

9. 「藻類」の索引(11~20巻)は全会員に頒布し、実費として臨時会費(1,000円以内、学生臨時会費は半額)を徴収することが承認された。

昭和48年度決算

収 入 の 部		支 出 の 部	
会 費	955,324	印刷費 21 巻 1~3 号	504,390
昭和 47 年以前 (129 件)	149,804	( 1 号	195,000
昭和 48 年度 (359 件)	640,603	1 号 別 刷	3,800
昭和 49・50 年度 (66 件)	117,437	2 号	130,000
その他(会費不足分)		2 号 別 刷	4,250
(63 件)	47,480	3 号	169,000
バック	137,179	3 号 別 刷	2,340
寄 附 金	11,650	発 送 費	27,010
利 子	7,044	通 信 費	36,390
		消 耗 品 費	45,365
		論 文 審 査 料	2,000
		幹 事 手 当	35,000
		換 金 手 数 料	1,465
小 計	1,111,197	小 計	651,620
前年度繰越金	390,037	残 額	849,614
計	1,501,234	計	1,501,234

## 昭和49年度(4月1日~12月31日)予算

収入の部			支出の部	
会費	(450件)	822,000	印刷費	
(国内)	410×1,800	738,000	(21巻4号・22巻1-4号)	1,100,000
(国外)	40×2,100	84,000	選挙名簿投票用紙	50,000
バック		100,000	発送費	50,000
利子		8,000	通信費	50,000
			消耗品費	50,000
			論文校閲料	15,000
			幹事手当	40,000
			予備費	424,614
小計		930,000		
前年度繰越金		849,614		
計		1,779,614	計	1,779,614

## 昭和49年度中間報告 (昭和49年7月31日現在)

収入の部			支出の部	
会費		598,084	印刷費	415,050
(昭和48年度以前)	(49件)	80,730	(21巻4号)	211,850
(昭和49年度)	(284件)	508,304	(22巻1号)	203,200
(昭和50年度)	(2件)	2,400	発送費	18,605
その他(会費不足分)	(8件)	6,650	(21巻4号)	7,995
バック		155,320	(22巻1号)	10,610
論文頁数超過		8,000	通信費	23,927
負担金			消耗品費	2,430
			換金手数料	530
			論文校閲料	2,500
小計		761,404	小計	463,042
前年度繰越金		849,614	残額	1,147,976
計		1,611,018	計	1,611,018

昭和50年度(1月1日~3月31日)暫定予算

収 入 の 部		支 出 の 部	
前年度繰越金	424,614	印刷費(23巻1号)	220,000
		発 送 費	10,000
		通 信 費	10,000
		消耗品費	10,000
		論文校閲料	3,000
		予 備 費	171,614
計	424,614	計	424,614

懇 親 会

総会終了後、午後7時より、場所を北海道大学クラーク会館に移し、吉田幹事の司会で懇親会が開かれた。中村会長の挨拶があり、続いて山田名誉会長の音頭で乾杯、なごやかに会が始まった。久方振りの藻類学会発祥の地での会のためか例年になく、多数の参加者となり、各テーブルを越えて談笑のうずがあちこちにわいた。恒例の1分間スピーチによる全員の自己紹介が行われ、最後に山田名誉会長の藻類学会設立当時のエピソードが紹介され、今後とも格調高い学会への発展を希望されているとの示唆にとんだお話があり、初秋の北の国エールの学園での会に皆なごりをおしみつつ午後9時に会を閉じた。

【出席者】

赤塚伊三武	阿部 英治	有賀 祐勝
榎本 幸人	秋 山 優	船 野 隆
舟橋 説往	長谷川由雄	早 川 徹
原 慶 明	岩本 康三	入来 義彦
庵 谷 晃	今堀 宏三	岩城 住江
川嶋 昭二	熊 野 茂	今野 敏徳
菊地 和夫	垣内 政宏	黒木 宗尚
金 子 孝	北見 秀夫	川端 清策

正置富太郎	松山 恵二	三浦 昭雄
水 野 真	宮地 和幸	増田 道夫
松永 圭朔	能登谷正浩	中沢 信午
中村 義輝	長田 晃一	西浜 雄二
中原 紘之	新原 義昭	奥田 武男
小笠原紀子	阪井与志雄	佐々木 茂
瀬戸 良三	斎藤 捷一	斎藤 英三
斎藤 宗勝	斎 藤 譲	三本菅善昭
田沢 伸雄	高田 昭典	津村 孝平
辻 寧 昭	谷口 和也	高橋 永治
高杉 新弥	鳥居 茂樹	館脇 正和
寺村 博行	梅 崎 勇	内田 卓志
渡 辺 信	藪 熙	山岸 高旺
山本 弘敏	吉 崎 誠	山田 家正
山田 幸男	吉田 忠生	造力 武彦

非 会 員

青井 孝夫	高 宮 篤	田中 次郎
井 上 勲	(73名)	

新 入 会

## 住所変更

## 改 姓

## 退 会

大橋準一, 佐藤孜郎, 大岩靖之, 今島 実,  
溝上千種, 吉田勝彦, 鈴木康宏, 市川 渡,  
奥野春雄, 菊地あや子, 台糖ファイザー株  
式会社, Saurashtra Univ. Library. J.  
Brunel.